

(別紙5)

調 査 報 告 書

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日	平成 21 年 2月 6日
調査実施の時間	開始 10 時 00 分 ～ 終了 14 時50分

訪問先事業所名 (都道府県)	医療法人 社団 日新会「至福の郷」グループホーム東町 (福島県)
-------------------	-------------------------------------

評価調査員の氏名	氏名 <u>大野 恒夫</u> 氏名 <u>熊谷 まゆみ</u>
事業所側対応者	職名 <u>管理者</u> 氏名 <u>遠藤 正子</u> ヒアリングを行った 職員1人

※記入方法

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。

※項目番号について

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年 2月 11日

【評価実施概要】

事業所番号	0770800431
法人名	医療法人 社団 日新会
事業所名	医療法人社団日新会 「至福の郷」グループホーム東町
所在地	福島県喜多方市字石田4041-1 (電話) 0241-21-1980
評価機関名	会津医療生活協同組合
所在地	福島県会津若松市東千石1-2-13
訪問調査日	平成21年2月6日

【情報提供票より】 (20年 12月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 1月19日
ユニット数	2 ユニット
職員数	16人
利用定員数計	18人
常勤	12人
非常勤	1人
常勤換算	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		780 円	

(4) 利用者の概要 (12月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	名	女性	18名
要介護1	7	要介護2		6	
要介護3	5	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	83.5 歳	最低	77 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団日新会 入澤病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者が全員女性ということもあり、ゆったりとした共有空間の中で和気藹々と過ごしている。地域の行事に参加したり、隣接している保育園の子ども達との交流など地域との結びつきを大切にしている。ペロタクシーを利用して蔵や町並みを散策したりと外出の機会を多く作っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	理念の共有と日々の取り組み、重度化や終末期に向けた方針の共有、入浴を楽しむことの出来る支援等、重度化や終末期に向けた方針の共有、入浴を楽しむことの出来る支援等が改善された。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今年の自己評価、外部評価をもとに職員全員で取り組んだ。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	ホームの運営状況等を報告し、ターミナルケア等について意見交換が行われている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等の来所時に意見・要望を聞くように努めている。歩けなくなることを心配した家族に対して、ケアにリハビリを取り入れるなど反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の祭り、一斉清掃などへの参加、ボランティアを積極的に受け入れるなど地域との交流がある。

2. 調査報告書

調査員氏名 大野 恒夫 / 同行調査員氏名 熊谷 まゆみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営方針に地域・家族との結びつきを掲げ、それを踏まえて職員間で話し合い「地域の行事に参加し、地域の方と話したい」という介護目標を作った。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	介護目標を意識しながら日々実践に向けて取り組んでいる。	○	介護目標を月別に設定し、実践できたかを話し合う場を作ることなどを検討してほしい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の祭り、一斉清掃などへの参加、ボランティアの積極的な受入など地域との交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の自己目標、外部評価をもとに全職員で自己評価を行った。外部評価の結果をもとに職員間で改善に向けて話し合い、重度化や終末期に向けた方針の共有、入浴を楽しむことができる支援などの改善がはかられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期的に開催されている。ホームの運営状況等を報告し、ターミナルケア等を議題に活発に意見交換を行い、サービスの向上に活かすように努めている。		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ふるさと通信を発行し写真入でホームでの暮らしを伝えている。担当職員からの日常生活、病気の治療状況など利用者の最近の様子を伝える文書を金銭管理報告書とともに毎月家族に送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の来所時に意見・要望を聞くように努めている。歩けなくなることを心配した家族の意見に、リハビリをケアに取り入れるなど反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動・離職が2名あったが、馴染みの関係を早く作るように努めるなどしてダメージを防ぐよう配慮した。	○	離職等を防ぎ職員が意欲を持って働けるよう労働条件の向上に一層の配慮を望みます。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	2ヶ月に1回、法人内のグループホームで研修を行っている。	○	認知症介護実践研修に毎年1名を受講させるなど計画的に外部研修に参加する機会を作ってほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム連絡会に参加し、情報交換・交流を図っている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お茶の時間等を活用し利用者とゆったり過ごす場面が毎日あり、昔のこと(行事等)を話題に会話が持てるように工夫している。その中で利用者から教えてもらうことも多い。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中でつかんだ思いや意向は、生活歴・介護記録表、入居後の情報記録等に記録すると共に、申し送り等で共有化している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	どう暮らしたいか利用者・家族の希望や意見の把握に努め、職員と話し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月経過ごとにモニタリングで介護計画の実施状況、介護目標の達成状況などを評価し、利用者・家族の意見を聞き、職員で話し合い、定期的な見直し、状態変化に応じた見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望するかかりつけ医としている。基本的には職員が同行し受診支援を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化対応・終末期ケア対応指針を作成し、利用者・家族に説明し同意を得ている。職員間で話し合い共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげないトイレ誘導、失禁時の対応等プライバシーに配慮した対応に心がけている。記録等の個人情報の管理も適切になされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりのペースに合わせた過ごし方ができるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、後片付けなど出来る人は職員と一緒に、職員とゆっくり食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1週間に3日、日中のみの入浴体制となっているが、どちらのユニットでも入れるようにし毎日の入浴が可能となった。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	裁縫、生け花など利用者の生活歴を活かす場面を作っている。買い物、他施設訪問など気晴らしの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	外食、買い物、散歩、ベロタクシーを利用して喫茶店に出かけたり外出の機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットに最低1人は見守りの人員を配置するなどして日中は玄関の鍵はかけないよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の指導を受けて避難訓練を実施している。	○	災害時に近隣の方の応援体制を依頼できる体制をとっておいてほしい。非常持出袋はあるが災害時の食料、飲料水、毛布等の物品等の準備をしておいてほしい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量は把握されている。栄養士による献立表のチェックも行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には観葉植物、花、人形等が置かれ、季節の飾り物（雛飾り）もあり家庭的な雰囲気があり、不快な音や光もなく居心地の良い空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	実地調査の際に利用者の居間等を写真に撮ってくるなど居心地の良い居室になるように努めている。居室には家族の写真、小机、鏡台等が持ち込まれている。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

「至福の郷」グループホーム東町

記入担当者名 管理者 遠藤 正子

評価結果に対する事業所の意見

なし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。